

京都文化交流 コンベンションビューロー通信

2026
1月号

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION

新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。

新たな年の初めを迎え、皆さまには健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は、円安や訪日旅行の人気が続くなど、訪日外国人数は過去最高を更新する見込みであり、一部観光地への集中による混雑対策や、観光客受け入れへの市民理解が重要課題となっています。

当財団では、昨年、観光庁の採択を受け、滋賀県・奈良県と連携した実証事業を実施し、時間・場所の分散化に取り組みました。また、国際会議開催を契機とした市民公開講座の開催、ビジネス機会の創出、学生の国際会議の参加を促進したほか、助成金制度では、繁忙期を申請除外日として閑散期への誘導を図りながら環境負荷を軽減する取組を促し、地域・環境に配慮した MICE 開催を進めてまいりました。引き続き、国際会議の誘致をはじめ地域に貢献する MICE 開催を促進してまいります。

昨年10月に閉幕した大阪・関西万博では、京都府、市、国際会館、大学、事業者など多くの関係者の皆様方と共に京都の多様な魅力を発信することができ、深く感謝申し上げます。この成果を未来に引き継いでまいります。

また開館20周年を迎えている京都迎賓館では、特別企画が実施されています。同館と協力して賓客や旅行者などお越しになる方々を温かくお迎えし、奥深い京都を味わって頂けるよう取り組んでまいります。

2008年の源氏物語千年紀・古典の日宣言から取り組んできた古典の日推進事業は18年目を迎え、古典の普及に向け、この間、文化庁との共催や国民文化祭との連携を進めてまいりました。更に「古典の日文化基金賞」は、本年から次世代を担う若者に特化し、「村田記念 古典の日文化基金未来賞」として新たにスタートし、京都から全国へ、古典をはじめ文化の振興に努めます。

財団発足以来続けてまいりました、京都の魅力を活かした国内外のコンベンション誘致、国際的な交流拠点・京都の魅力を高める活動及び文化振興と観光・MICE 事業の推進など、文化と経済の好循環の創出に向け一層邁進してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

MICE

令和7年度「会員の集い」開催のお知らせ

当財団では、賛助会員の皆様相互の交流や親睦を深めていただくことを目的に「会員の集い」を毎年開催しており、今年度についても、右記のと通りの開催を予定しておりますので、ご参加賜りますようご案内申し上げます。



企業ブースの様子

日時：令和8年2月18日（水）午後6時～午後8時

会場：ウェスティン都ホテル京都

（〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1）

お申し込みは、こちらから



CONTENTS

P1…新年のごあいさつ

P1…令和7年度「会員の集い」開催のお知らせ

P2…第22回 STS フォーラム支援事業を実施

P2…MICE開催地としての魅力向上事業 & KYOTO
MICE TRADESHOW AUTUMN 2025

P3…EXPO レガシーを未来へつなぐ

P3…アートを通じた京都の魅力発信

～ ACK と LIGHT CYCLES KYOTO ～

P3…京都迎賓館20周年記念企画 ラストを飾る特別展示

P4…古典の日フォーラム2025及び第17回朗読コンテストの結果報告

P4…130周年の時代祭に参加

P4…文化振興友の会の会員募集中！



昨年度の会員の集いの様子

当財団では、京都府、京都市、京都商工会議所とともに「STSフォーラム支援京都実行委員会」を組織し、毎年京都で開催されるSTSフォーラムにあわせて、様々な支援活動を行っています。

10月4日には、STSフォーラムの開催を契機とした府民・市民への還元に向けた取組として、「再エネとスタートアップが支える京都の未来」をテーマとした公開シンポジウムを開催しました。

同分野の有識者として、STSフォーラムにも登壇された、豊田祐介氏（デジタルグリッド株式会社代表取締役社長CEO）による基調講演に続き、豊田氏、大垣守可氏（株式会社大垣書店取締役、営業本部長）、山本周雅氏（株式会社カタルシス代表取締役）、そしてモデレーターの杉岡秀紀氏（福知山公立大学地域経営学部准教授）によるパネルディスカッションを行い、200名を超える方々にご参加いただきました。

また、10月6日には、STSフォーラム出席者を対象としたエクスカージョンと地元主催の歓迎レセプションを開

催しました。

エクスカージョンでは、大徳寺塔頭で朝の座禅を体験いただいたほか、伏見の酒蔵を訪れて日本酒の醸造について学ぶことで、京都ならではの文化や風土への理解を深めていただきました。

歓迎レセプションでは、立命館大学の学生による生け花や書の作品を展示し、STS参加者と学生が気軽に交流できる場を設けました。また、琴の演奏や芸妓・舞妓による舞も披露され、京都らしい優雅な雰囲気の中で、参加者同士の交流を一層深めていただく機会となりました。

当財団では、今後もMICE主催者や運営事業者と連携しながら、サステナブルなMICE都市を目指してまいります。



公開シンポジウム



歓迎レセプション

当財団では、観光庁の採択を受け「MICE開催地としての魅力向上事業」として、他府県と連携したエクスカージョンツアーを10月27日～29日に開催いたしました。

本事業は、京都で開催されるMICEの主催者に対し、京都の魅力を活かしながら、滋賀県・奈良県のユニークベニューや本物の伝統文化を組み合わせることで、付加価値の高いエクスカージョンメニューを開発し、京都へのMICE誘致を促進するもので、当日は、国内外から20名の有識者が参加し、MICE開催地としての魅力と今後の課題について視察を行いました。

参加者からは、「コンテンツの選択肢が広がった」「今後の展開に可能性を感じた」といった前向きなご意見をいただいた一方で、各都市のコンベンションビューローからも、開催事例のないユニークベニューを活用することで、「初めて会う参加者もいて、楽しい出会いが作れたことがよかったし、これまで使用していない場所で実施できたため、新たな開発にもなった」「自都市でMICEを誘致しながら、京都で開催されるMICEエクスカージョン誘致も進めたい」と、事業に対して高い評価を頂きました。

当財団においても、滋賀・奈良と連携して事業を行ったことで、各都市の魅力を知るきっかけとなったほか、各ビューローとの関係性も強化されました。本事業を参考に、今後も、府域、他都市の魅力も活用しながらMICE誘致を促進してまいります。

また、「MICE開催地としての魅力向上事業」に続き、

10月29日～31日には、京都市からの補助を活用し、「KYOTO MICE TRADESHOW AUTUMN2025」を開催しました。

今年度は「岡崎MICE」をテーマとし、国内外から9カ国25名のMICE案件保有者（バイヤー）と20社の出展事業者が平安神宮会館に集い、商談会を行いました。

本商談会は、案件保有者と出展事業者が直接商談を行うことができ、開催に向けた具体的な計画を相談できるため、本商談会をきっかけに、他府県で開催を計画していたが京都開催に変わった案件、元々京都の可能性が高かったがこの商談をきっかけに京都開催が正式に決定した案件など、本商談会の開催期間中に誘致に成功した事例も誕生しました。

最終日には、国立京都国際会館に加えて、岡崎MICEの魅力伝える為、みやこめっせ（京都市勧業館）や京セラ美術館等を視察し、終了いたしました。

本事業を通じて、複数の大型国際会議やインセンティブ開催の商談が具体的に進んだことを活かして、当財団でも引き続き、誘致・開催実現に向けて、継続的な支援を行ってまいります。



【魅力向上事業】立食パーティーの様子(旧竹林院)



【TRADESHOW】商談会の様子(平安神宮会館)

MICE EXPO レガシーを未来へつなぐ

当財団が共同代表を務める大阪・関西万博きょうと推進委員会では、万博を契機に京都産業の強みや府内各地の文化・観光資源を国内外へ発信し、多様な人材・企業等の交流促進に「オール京都」体制で取り組みました。また、万博閉幕後の11月22日には、「EXPO KYOTO MEETING + ～NEXT STAGE 未来を描く、わたしたちのチカラ～」を開催し、次世代を担うユースの活躍や企業等の交流の機会を創出しました。12月19日には委員会総会を開催し、アクションプランをはじめとした京都の取り組みの実績と成果を確認しました。



EXPO KYOTO MEETING +

同委員会のフラッグシップ・アクションに位置付けられた

「けいはんな万博 2025」には当財団も参画し、大阪・関西万博と同期間の会期中に**74件の事業を実施し、総参加者数は20万人**を超えました。10月11日の閉会セレモニーでは、「けいはんな宣言」の策定に向けて若い世代からの提案があり、ポスト万博を見据えた新たな一歩が示されました。

当財団においても、同委員会のアクションプランとして、京都迎賓館や古典の日事業を通じて、京都のブランド価値向上と古典文化の発信強化に取り組みました。また、MICE 商談会でのPRや、京都府内各地域の強みを生かした国際会議・エクスカージョン等のMICE 支援を行い、公開講座開催による市民との交流や学生の参画、環境への配慮を推進し、サステナブルなMICE 都市の実現を目指すとともに、万博を契機に京都を訪れる各国政府や企業・団体を受入れました。これらの成果を踏まえ、今後もMICE 誘致や産業・観光振興に取り組んでまいります。

MICE アートを通じた京都の魅力発信 ～ ACK と LIGHT CYCLES KYOTO ～

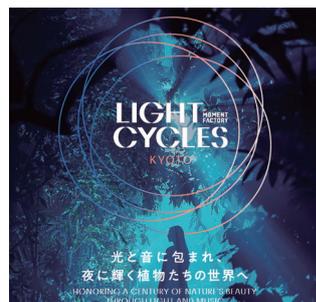
11月14日～16日、国立京都国際会館を主会場に国際的アートフェア「Art Collaboration Kyoto (ACK)」が開催されました。当財団は京都府等とともに本事業に参画しています。会場には国内外から計**72ギャラリー**が参加し、多様な作品が紹介されたほか、トークイベントやキッズプログラムも行われ、**3万人が来場**し現代アートに触れる機会となりました。今年、京都府と京都市において10月から11月が「京都アート月間」と位置づけられ、地域全体でアートを楽しむ環境づくりが進む中、市内各所での関連企画も多くの参



ACK 主会場の様子
photo by Moriya Yuki

加者でにぎわいました。

また、当財団は夜間アートイベント「LIGHT CYCLES KYOTO」にも参画しています。本イベントは、**京都府立植物園開園100周年**を記念して昨年度初開催され、好評を受け今年も継続されているもので、**3月31日(火)まで同園で開催中**です。光・音・映像による幻想的な演出を通じて、植物の新たな魅力を体感できる本事業は、京都の夜の魅力向上に寄与しています。



日本最古の公立植物園を舞台にした没入型アート体験

文化発信 京都迎賓館 20周年記念企画 ラストを飾る特別展示

京都迎賓館は2005年4月の開館から20周年を迎え、今年度は展示替えや特別ガイドが行われています。1月からは特別企画の締めくくりとして、同館ゆかりの人間国宝の方々の作品などが展示されます。当財団は開館以来、接遇のお手伝いのほか、一般公開や特別企画への協力、オリジナル記念品の企画・販売などに取り組んできました。ただいま、記念品販売所では、**20周年の特別版参観記念符も好評**です。

ぜひお出かけください。



<https://hellokcb.or.jp/bunka/geihinkan.php>



林駒夫<<蘭陵王>>(桐塑人形)

「古典の日フォーラム2025」は11月1日にロームシアターで開催し、1,000人を超える方にご参加いただきました。国民文化祭との連携では、大石賢吾 長崎県知事のビデオメッセージに続き、国選択無形民俗文化財で対馬に伝わる「命婦の舞」を披露いただきました。命婦の舞は神楽の原初の姿を考える上で貴重な巫女舞です。

第2部は、作家の澤田瞳子さんの講演「花開く町人の文化」に続いて、人形浄瑠璃文楽『義経千本桜 知盛幽霊の段』の上演の後、人形の吉田箕紫郎さんに三宅民夫アナウンサーが楽しくお話を伺い好評でした。

「第17回朗読コンテスト」は11月29日に金剛能楽堂で開催。江戸時代の文学にスポットを当て、松尾芭蕉『おくのほそ道』、近松門左衛門『曽根崎心中』、上田秋成『雨月物語』、曲亭馬琴『南総里見八犬伝』から課題作品を選び、427人の応募者の中から、一般部門8人と中学・高校生部門6人の14人が最終審査会に臨みました。審査の間はインド古典舞踊の上演をお楽しみいただきました。審査の結果は以下の通りです。

(受賞者)

大賞【一般部門】

大賞【中学・高校生部門】

文部科学大臣賞

京都府知事賞

京都市長賞

宇治市長賞

京都商工会議所会頭賞

京都府高等学校文化連盟会長賞

赤坂 理菜さん(東海大学付属静岡翔洋高等学校2年)

古典の日推進委員会中学生奨励賞 中谷 凜さん(西宮市立浜脇中学校3年)

会場の投票で選ぶ「みんなの感動賞」は、【中学・高校生部門】で大賞を受賞された大八木さんのダブル受賞となりました。

(受賞者の朗読は、古典の日のホームページでお聞きいただけます)

また、11月8日に梅小路公園で開かれた「KYOTO BOOK PARK」の催しの中で古典朗読会を開きました。昨年の大賞受賞者の余田順子さんに「平家物語」、一昨年の中学生奨励賞を受賞した川上来夏さんに「枕草子」を朗読いただき、参加された方に古典朗読の良さを感じ取っていただきました。これからも古典の日推進の活動へのご支援よろしくお願いたします。

中村 和恵さん(北海道)

坪田 千恵子さん(福井県)

直井 知恵子さん(滋賀県)

千葉 扶美子さん(兵庫県)

近森 康子さん(兵庫県)

岡崎 節子さん(大阪府)

10月22日、当財団は平安講社様のご高配のもと、今年も京都三大祭の一つ「時代祭」に参加しました。時代祭は今年で130周年を迎え、華やかな壺装束をまとった賛助会員ホテルの皆様による当隊列は、行列先頭で「奉祝130年」の横断幕を掲げて行進し、記念の機運を高めるとともに、平安建都1300年に向けた京都の発展と「古典の日」を笑顔でアピールしました。



<参加いただいたホテル>

- ・ウェスティン都ホテル京都
- ・京都東急ホテル
- ・京都ブライトンホテル
- ・ザ・プリンス 京都宝ヶ池
- ・ハートンホテル京都
- ・ヒルトン・ガーデン・イン京都四条烏丸
- ・ホテルオークラ京都
- ・ホテルグランヴィア京都
- ・リーガロイヤルホテル京都

<参加ホテルの声>

- ・京都への理解・愛着、サービスクオリティの向上、社内コミュニケーション促進等の効果がありました。
- ・貴重で有意義な機会であり、若い世代のモチベーション向上、知識を得る機会となり、ひいては若手人材の確保にもつながると考えます。

<参加者の声>

- ・沿道の皆様から「素敵。頑張ってるね。」と温かい声をかけていただき、笑顔で楽しみながら京都の魅力を伝えることができました。
- ・京都の伝統的行事に実際に参加することで知識を得るきっかけになり、地域の皆様や観光に来られる方々に喜んでいただけるサービスをしたいという意識が高まりました。

当財団では、京都の自然や景観、伝統工芸、芸能、芸術、文化財などの京都の文化の発信と啓発を行う「京都文化振興友の会」を運営しており、現在その活動にご支援いただける個人の会員を募集中です。入会に当たっては、各種特典もご用意しておりますので、是非入会をご検討ください!



会員募集ページ

新規賛助会員のご紹介 2026年1月1日現在

カリグラフィー京都 知ふみ書道

所在地: 京都市中京区富小路二条下る俵屋町199

H P : <https://calligraphy.kyoto.jp/access/>



一般社団法人日本和食ライフスタイリスト協会

H P : <https://cooking.wa-connecty.com/waco/>

